

しろくま通信

お正月について書いています。

お正月のごちそうである「お雑煮」や「おせち料理」は、歳神様（としがみさま）と一緒にいただきます。使用するお箸は柳箸（やなぎばし）と言って、どちら側でもいただけるようになっています。つまり、反対側で神様がいただいているのです。これを神人共食（しんじんきょうしょく）といいます。

歳神様は、年末の餅つきでついた鏡餅の上に降り立ちます。

分家の者たちが本家に集まり、御歳暮として土産に持ち寄った野菜や産物を煮込んだものがお雑煮です。地域によって具材が異なりますが、里芋などは靈魂の形に似せており先祖の魂を表します。

直来(なおらい) と言って皆で食事をいただければ、仲間となります。つまり、家族の絆を強めているわけです。その場に参加できない者には陰膳(かげぜん) と言って茶碗に軽くご飯をよそい、一緒にいただいていることにします。お雑煮の中に入った餅は、歳神様が宿った鏡餅を分けたお年玉というわけです。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<https://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

